

分野別目標総括シート

分野別目標7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している <めざす姿> ○創業など新たな挑戦をしようとする、創造的で先鋭的な人材や企業が世界中から集まっており、新たな価値を生み出し、開業率が全国トップレベルになっています。 ○創造性あふれる感性や技術、才能をもった人材や企業が集積する中で、創業者や新進芸術家、クリエイターなどの創造的で先鋭的な人材や企業が活躍し、新しい価値を生み出しています。 ○文化芸術活動を行う人が数多く活躍し、ゲーム、ファッション、デザイン、映画、音楽などのクリエイティブ関連産業が集積・拠点化しており、都市の成長の原動力となっています。 ○都心を中心とした創造的な空間に人材が集積し、活発に交流しており、福岡を拠点に活躍する女性、若者、学生、留学生が数多く生まれ、チャレンジする人材が活躍しやすいまちになっています。
--

施策		成果指標		重点事業 ※網かけは再掲	
名称	評価	指標項目	指標の 達成状況	名称	進捗状況
施策7-1 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	(概ね順調)	新設事業所数	(C)	スタートアップ・サポーターズ (クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業)	A
				クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業<再掲7-4>	A
施策7-2 創造的活動の基盤となる文化芸術の振興	概ね順調			情報関連産業の振興① (福岡組込ソフト開発応援団事業)<再掲6-1>	B
				情報関連産業の振興② (福岡先端半導体開発拠点構想事業)<再掲6-1>	A
施策7-3 個人の才能が成長を生む創造産業の振興	(概ね順調)	クリエイティブ関連産業事業所数	(C)	インキュベーター事業	B
				福岡市創業者応援団事業	B
施策7-4 多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり	概ね順調			オープンデータの活用推進	A
				拠点文化施設整備検討 (拠点文化施設)<再掲1-4>	B
施策7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり	—	若者率(15歳～29歳)の全国平均との差(福岡市の人口に占める若者率の全国平均との乖離)	—	香椎副都心公共施設整備 (市民センター)<再掲2-2>	A
		企業における女性管理職比率	—	香椎副都心公共施設整備 (音楽・演劇練習場)<再掲2-2>	A
施策7-6 大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化	概ね順調	全国の学生数に占める福岡市の割合	A	クリエイティブ関連産業の振興	B
				クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業<再掲7-4>	A
				大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業<再掲7-6>	A
				クリエイティブフェスタ (クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業)	B
				アジアフォーカス・福岡国際映画祭	B
				クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業	A
				都市再生の推進<再掲8-1>	B
				中高生夢チャレンジ大学	B
				職場体験事業<再掲1-8>	A
				女性活躍企業応援事業	A
				働く女性のチャレンジ支援事業	C
				産学官民連携による国際競争力強化事業<再掲6-1>	C
				グローバル人材の育成と集積<再掲8-5>	C
				九州大学学術研究都市推進機構との連携 (九州大学学術研究都市構想の推進)<再掲8-2>	B
				九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり<再掲8-2>	A
				大学のまちづくり	A
				大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業	A

施策評価シート

目標7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策7-1	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
施策の方向性	創業や社会実験、ソーシャルビジネス、新たなプロジェクトなど、さまざまな分野でスタートアップ（新しい行動や事業を起こすこと）にチャレンジする人材や企業を国内外から福岡に呼び込み、インキュベート事業、創業者の成長段階に応じた支援など、それぞれのニーズに対応したきめ細かなサポートにより、福岡で活躍できる環境を整え、創業しやすく、新たなチャレンジを応援する都市の実現を図ります。		
施策主管局	経済観光文化局	関連局	総務企画局

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

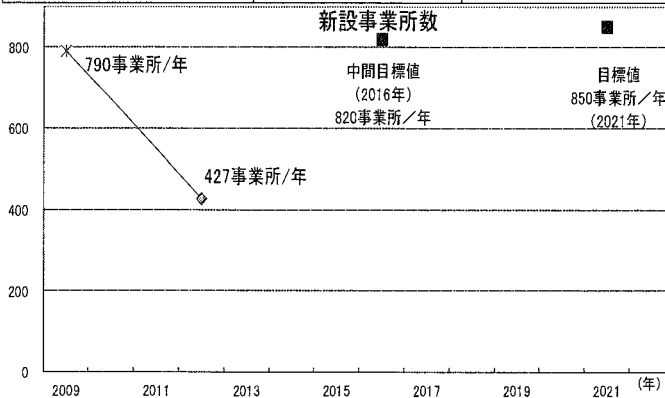
(施策7-1)新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり

- チャレンジ人材の集積、活躍支援
 - スタートアップ・サポーターズ（クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業）
 - ★クリエイティブ産業拠点機能の検討＜再掲7-4＞
 - 情報関連産業の振興（技術者等育成）＜再掲6-1＞
 - フリーター等の就職支援（デジタルコンテンツ、ICT等の研修等）＜再掲6-5＞
- 創業しやすい都市づくり
 - インキュベート事業
 - 福岡市創業者応援団事業
 - ★オープンデータの活用推進

1 指標

《成果指標》

	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
新設事業所数※	790 事業所/年 (2009年)	427 事業所/年 (2012年)	820 事業所/年	850 事業所/年 (2021年)	(C)



※出典：経済センサス

《市民満足度調査（2013年度調査）》

満足度		重要度	
満足	13.5%	重要	49.5%
不満足	14.4%	非重要	4.6%
どちらでもない	68.9%	どちらでもない	41.7%

非常に重要

重要度

やや重要

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】

不満足

満足

満足度

2 現状分析	
(1) 成果指標等の分析	
・新設事業所数は、リーマンショックや東日本大震災の影響から、初期値から大幅に減少。 *H21n（初期値）：790 事業所/年→H24n：427 事業所/年	
(2) 主な事業の成果	
●チャレンジ人材の集積、活躍支援 ・スタートアップ・サポーターズにおいて、サロンやワークショップの運営やスクールを実施し、起業家の育成に寄与。 ・情報関連産業振興のため、業界のニーズの高い分野の講座を実施し、1,000人以上が受講するなど、多くの人材（技術者等）を育成。 ・フリーターなどを対象に正社員就職への支援。 *デジタルコンテンツクリエイター育成事業：受講者数 101 人、就職者数 90 人、就職率 89.1% *ICT クリエーター育成事業：受講者数 24 人、就職者数 18 人、就職率 75.0% ●創業しやすい都市づくり ・インキュベート事業（原則入居3年間）では、これまでに172社（現在33社）にオフィスを提供し、創業直後の体力が弱いスタートアップ企業（創業5年未満）を支援。 ・創業者応援団事業においては、交流会（約2,000人参加）、セミナー等（約800人参加）を通じてスタートアップ企業同士の交流促進、販路拡大等を支援。また、優秀なビジネスプランを表彰、費用負担するステップアップ助成事業（約250社がエントリー）を通じて、スタートアップ企業のロールモデルとなりうる企業を発掘し、育成を支援。 ・ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会において、市民や企業等からオープンデータの活用アイデアの募集・優秀なアイデアの表彰や啓発のためのシンポジウムを開催。	
(3) 施策推進上の課題	
・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等） ・施策、事業を進めていく上での主な課題 ●チャレンジ人材の集積、活躍支援 ・企業にとってビッグデータの活用は必須になっていくと考えられ、統計手法を用いてビッグデータを分析し企業経営に活かすことができる専門的人材の育成が必要。 ・景気の上向きにより、企業や官公庁のシステムやソフトウェア開発等の需要が増加してきているが、必要となる人材（エンジニア）が不足。 ・フリーター・若者の正社員就職につながる講座内容について検討が必要。 ●創業しやすい都市づくり ・福岡市は国家戦略特区の指定を受け、世界一チャレンジしやすい都市をめざして、スピード感を持った取り組みが必要。	
3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）	（概ね順調）
・成果指標は減少している。 *成果指標は計画期間前の2012年の数値。リーマンショック後の不況や東日本大震災を含む時期であり、全国及び他の政令指定都市においても減少している。なお、雇用保険適用事業所を基にした福岡都市圏の開業率は6%前後で横ばいで推移。 ・スタートアップサポーターズ、情報関連産業の人材育成、デジタルコンテンツクリエイター育成、ICTクリエイター育成事業など、事業は概ね目標どおり進んでいる。	

4 今後の取組みの方向性

●チャレンジ人材の集積、活躍支援

- ・スタートアップサポーターズによる起業家マインドの醸成，ネットワーキングの強化など，事業の充実を図る。
- ・情報関連の地場企業に対し，ISIT とも連携し，統計手法を用いてビッグデータを分析し，企業経営に活かすことができる専門的人材を育成。
- ・景気の上向きに対応し，システム開発・ソフトウェア開発に対応できる人材（エンジニア）を育成。
- ・求職者の多様な働き方のニーズに合わせた就労支援を継続。特に，若者については，地元学生と地元中小企業のマッチング強化や，フリーター等の正社員就職支援を推進。

●創業しやすい都市づくり

- ・国家戦略特区における規制改革等に加え，H26n よりスタートアップの裾野を広げるための「スタートアップカフェ」の設置（スタートアップ拠点の形成）など，福岡市独自のスタートアップ施策や中小企業対策も充実させ，パッケージとして戦略的・総合的に推進。
- ・オープンデータサイトの構築（使いやすい行政データの提供），ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会を中心とした成果の共有，活用事例の創出（アイデアの実現化）等を推進。

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-1 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり

スタートアップ・サポーターズ（クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業）	所管課 経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	25年度事業費 6,000 千円 26年度事業費 5,700 千円
---	--------------------------------	--------------------------------------

対象 起業に興味のあるもの	目 的 起業家教育、ネットワーキング、プロモーション等を実施し、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指す。
---------------	--

前年度実施内容	・サロンやワークショップの実施やスクールの運営を行い、地域の活性化を図るとともに、起業家の発掘や支援。 ・起業家をはじめとする関係者を対象とした育成交流の場の創出。				
---------	---	--	--	--	--

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	MOVIDA SCHOOL福岡の開催	44	44	100%	A
成果の指標	MOVIDA SCHOOL福岡の受講者数	440	418	95%	
事業の進捗状況 に関する補足	—				

インキュベート事業	所管課 経済観光文化局新産業・立地推進部創業・大学連携課	25年度事業費 140,972 千円 26年度事業費 137,772 千円
-----------	------------------------------	--

対象 創業予定者又は創業5年未満の者	目 的 インキュベート施設において賃料負担の軽減及び経営指導等の支援を行うことで、自立した安定的な経営を行うことができる起業家を育成する。
--------------------	---

前年度実施内容	①インキュベート施設の運営 入居募集審査会 年3回 ・創業者育成補助金（上限3万円、家賃の1/2補助） 新規2社＋継続6社 1,379千円 ・地域産業振興負担金 …福岡ビジネス創造センター運営委員会に対する負担金 25,983千円 ・共益費及び負担金 …賃貸借に係る共益費及び電気光熱費負担金 20,131千円 ・使用料等の口座振替データ変換等委託 床清掃業務委託等（施設維持及び施設使用料等の請求にかかる委託業務）…2,769千円 ②専門家派遣による経営指導 計 81回（1企業につき、1か月～2か月に1回） ③公的支援機関等による支援施策の情報提供 毎月の定例自治会及びメーリングリストを利用して、適宜情報提供。				
---------	---	--	--	--	--

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	インキュベート施設の満床化（年度末の入居者数）	43	33	77%	B
成果の指標	新設事業所数850事務所/年	—	—	—	
事業の進捗状況 に関する補足	—				

福岡市創業者応援団事業	所管課 経済観光文化局新産業・立地推進部創業・大学連携課	25年度事業費 9,043 千円 26年度事業費 5,995 千円
-------------	------------------------------	--------------------------------------

対象 創業予定者、創業して間もない企業、個人	目 的 企業、事業者の持続的な発展
------------------------	-------------------

前年度実施内容	補助金 福岡市ステップアップ助成事業 2社×1,000千円＝2,000千円 その他 ①ビジネスプラン総合相談会 2社 ②若手経営者たちの創業挑戦記 年間1回開催 47名参加 ③スタートアップFUKUOKA（応援団フォーラム、スタートアップフェア、マッチング・交流会） 282名参加				
---------	--	--	--	--	--

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	ステップアップ助成事業申請件数	35	15	43%	B
成果の指標	新設事務所数	—	—	—	
事業の進捗状況 に関する補足	—				

オープンデータの活用推進	所管課 総務企画局ICT戦略室ICT戦略課	25年度事業費 4,560 千円 26年度事業費 7,000 千円
--------------	-----------------------	--------------------------------------

対象 オープンデータの活用を望む市民・企業	目 的 ①市民や企業が、オープンデータを有効に活用し、新事業や官民共働の新サービスを創出する。 ②二次利用しやすく、安心して活用できる形で公共データを広く公開する（オープンデータ化）。
-----------------------	---

前年度実施内容	①ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会 ○アイデアコンテストの実施 ・オープンデータ活用を具体的に推進するため、市民・企業から広く活用アイデアを募集する（H25.6～8）。 ・募集した活用アイデアについて、審査・表彰を行う（H25.11）。 ○公開シンポジウムの開催 ・オープンデータ活用推進について、市民・企業等への啓発を図る（H25.11） ②オープンデータに関する調査検討（H25.7～H26.3） ○諸課題の整理 ・福岡市が保有する公共データのオープンデータ化の整理 ○福岡市としての取り組みの方向性 ・ニーズの高いデータの抽出と、オープン化に向けてのステップ案				
---------	--	--	--	--	--

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	実施可能な活用方策（アイデア）	3	5	167%	A
成果の指標	オープンデータの活用事例	—	—	—	
事業の進捗状況 に関する補足	—				

施策評価シート

目標 7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策 7-2	創造的活動の基盤となる文化芸術の振興		
施策の方向性	創造的な文化芸術活動は、デザインやファッションなどのクリエイティブ関連産業の基盤ともなるものです。これらを行う人々の自主性を尊重し、活動しやすい環境づくりを進め、福岡を拠点として、その能力が十分に発揮されるよう活動を支援します。		
施策主管局	経済観光文化局	関連局	市民局

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

〔施策7-2〕創造的活動の基盤となる文化芸術の振興

●創造活動を担い、支える人材の育成と活動の支援

- 拠点文化施設整備検討<再掲1-4>
- 香椎副都心公共施設整備(市民センター、音楽・演劇練習場)<再掲2-2>
- まちなかアートギャラリー<再掲1-4>
- 福岡アジア美術トリエンナーレ
- FFACステップアップ助成プログラム(地域アーティストの育成)

1 指標

《成果指標》

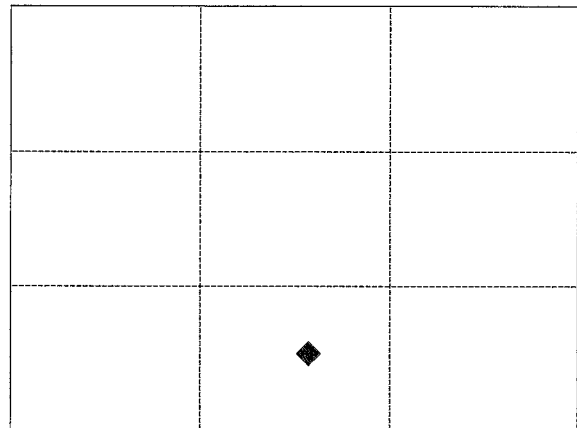
なし

《市民満足度調査(2013年度調査)》

満足度と重要度の分布(平均評定値)【9区分評価】

満足度		重要度	
満足	17.4%	重要	37.7%
不満足	9.4%	非重要	8.5%
どちらでもない	69.7%	どちらでもない	49.4%

非常に重要
重要度
やや重要



不満足

満足

満足度

2 現状分析

(1) 成果指標等の分析

(2) 主な事業の成果

●創造活動を担い、支える人材の育成と活動の支援

- ・拠点文化施設整備については、基本構想(H24.3策定)を踏まえ、基本計画の策定に向けて検討。
- ・香椎副都心公共施設整備(市民センター、音楽・演劇練習場)については、基本構想及び基本設計に基づき実施設計を完了。
- ・まちなかアートギャラリーについては、アートを通じて街の賑わいを創出するため、同時期に開催される様々なアートイベントとも連携し、若手のアーティストによるアート作品の展示やダンス公演等を実施。
*警固公園、須崎公園、商業施設壁面など全15か所、参加アーティスト7組、観覧者数約18,200人
- ・第5回福岡アジア美術トリエンナーレの準備として、作家調査・選考、テーマ決定、広報(記者発表・HP開設)などを準備。
- ・FFACステップアップ助成プログラムについては、芸術分野のプロを目指す人の活動を助成。また、事業の質向上のため、専門家からのアドバイスや報告会などを実施。
*採択件数：10件(演劇4件、音楽2件、映像2件、古典芸能1件、美術1件)

(3) 施策推進上の課題	
・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等） ・施策，事業を進めていく上での主な課題	
●創造活動を担い，支える人材の育成と活動の支援 ・若手アーティストは，発表の場や機会が少ない。また，実績が乏しいため，国や民間からの支援を受けにくい状況があるため，活動しやすい環境づくりの推進が必要。 ・福岡市では，一定程度の文化ホールが整備されているが，専門性の高いホールの不足や近年相次いだ民間ホールの閉館など，文化ホールを取り巻く環境は厳しい。 ・香椎副都心公共施設は，市民センターと音楽・演劇練習場との複合施設としての特色を生かした運用が重要。	
3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）	概ね順調
・拠点文化施設の検討，香椎副都心公共施設整備の実施設計など，事業は概ね目標どおり進んでいる。	
4 今後の取組みの方向性	
●創造活動を担い，支える人材の育成と活動の支援 ・拠点文化施設については，基本構想に基づき，基本計画を策定し，整備を着実に推進。 ・市民センター，音楽・演劇練習場の複合施設である香椎副都心公共施設については，H28n 上期開館に向け，複合施設としての特性を生かせるよう運用面での調整を図りながら整備を推進。 ・トリエンナーレについては，アジア 21 か国・地域から厳選された最先端のアート作品を展示するなど，魅力あるイベントを開催。また，アジアンパーティでは，積極的な広報を展開するとともに，他都市のイベントとの連携や若者向けの商業施設等とのコラボレーションなどを実施。 ・FFAC ステップアップ助成プログラムについては，活動への助成だけでなく，引き続き報告会やセミナーを通じた専門家との意見交換やフォローアップを推進。	

施策評価シート

目標7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策7-3	個人の才能が成長を生む創造産業の振興		
施策の方向性	ゲームをはじめとするデジタルコンテンツやファッション、デザイン、映画、音楽などクリエイティブ関連産業を官民一体となって振興するとともに、文化・芸術、食などを含めたあらゆるコンテンツを福岡市の魅力として磨き上げ、エンターテインメント都市づくりを進めます。		
施策主管局	経済観光文化局	関連局	—

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

(施策7-3)個人の才能が成長を生む創造産業の振興

●クリエイティブ関連産業の振興

— クリエイティブ関連産業の振興(ゲーム、ファッション、デザイン、音楽等)

— ★クリエイティブ産業拠点機能の検討<再掲7-4>

— ★大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業<再掲7-6>

— シリアスゲーム普及啓発事業

— フィルムコミッション事業

— ★クリエイティブ産業の海外展開支援(海外ビジネス出口創出事業)

●エンターテインメント都市づくり

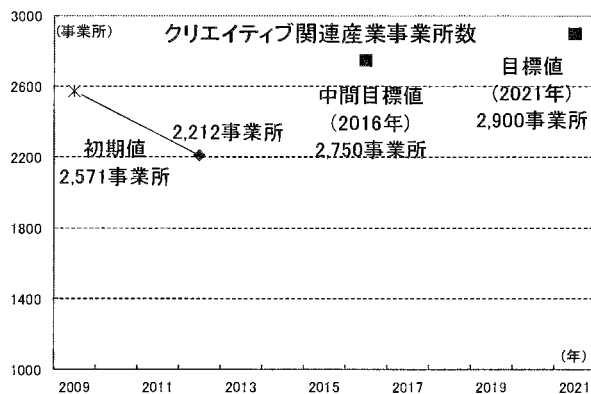
— アジアン・パーティ

【クリエイティブフェスタ、アジアフォーカス・福岡国際映画祭、アジア太平洋フェスティバル<再掲5-1>、福岡アジア文化賞<再掲8-6>】

1 指標

《成果指標》

	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
クリエイティブ関連産業事業所数	2,571 事業所 (2009年)	2,212 事業所 (2012年) ※注	2,750 事業所	2,900 事業所 (2021年)	(C)



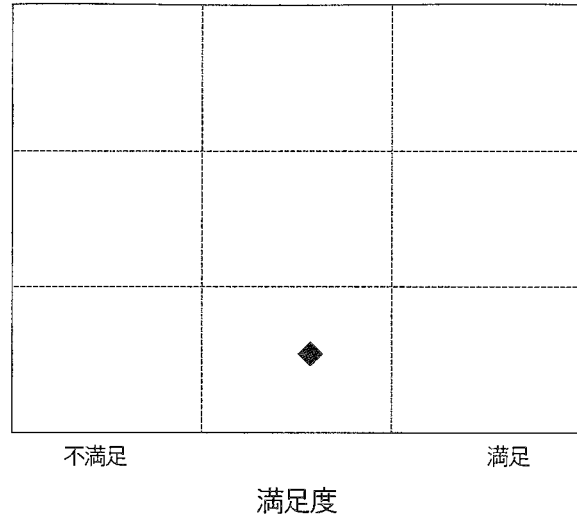
注) 経済センサス活動調査より関連事業所数を抽出。
産業(細分類)の数値が把握できないため、産業(細分類)に該当する項目は21年経済センサス基礎調査の数値をもとに按分して推計。

《市民満足度調査（2013 年度調査）》

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9 区分評価】

満足度		重要度	
満足	20.1%	重要	33.4%
不満足	8.9%	非重要	11.6%
どちらでもない	67.7%	どちらでもない	50.5%

非常に重要
重要度
やや重要



2 現状分析

（1）成果指標等の分析

- ・2009 年と比較し、2012 年のクリエイティブ関連事業所数は減少。
- ・国のクールジャパン政策にも見られるように、クリエイティブ関連産業に対する官民の関心が高まりつつある中で、福岡市においても、The Creators や FACo, GFF など地元企業を中心としたイベントのほか、B-Dash Camp やアドテック九州など全国的なクリエイティブ関連イベントが開催されるなど、各産業分野における動きが活発化。

（2）主な事業の成果

●クリエイティブ関連産業の振興

- ・ゲーム分野においては、産学官（GFF＋九州大学＋福岡市）で組織する福岡ゲーム産業振興機構により、インターンシップ、ゲームコンテスト、ゲームセミナーなどの人材育成事業やイベントによる広報事業を実施。
*ゲーム産業事業所数：26 社、従業員数：約 1,250 人（H25n）
- ・ファッション分野においては、福岡アジアファッション拠点推進会議によるファッション産業振興事業として、FACo、ファッションウィーク福岡や合同展示商談会などを実施。また、海外での販路拡大や海外からの集客をめざし、釜山で FACo を活用した事業を展開。
*FACo 入場者数：7,542 人（H25n）（前年度比＋約 100 名）
- ・デザイン分野においては、NPO 法人 FUKUOKA デザインリーグとデザインセンター釜山の間で締結された MOU を活用したデザイン商談会 in 釜山等の事業を実施。
- ・音楽分野においては、音楽イベントとの連携による情報発信や音楽産業振興基金を運営。
- ・クリエイティブ関連産業の拠点に関する企業ニーズを把握するため、市内に立地するクリエイティブ関連の拠点施設やクリエイティブ関連企業にアンケート調査、ヒアリングを実施。
- ・タイのデジタルコンテンツ企業との商談会を実施し、来福タイ企業 9 社のうち 7 社の商談が成立。
- ・英国政府との MOU を活用したミッション派遣や、FACo を活用した海外プロモーション等を展開。

●エンターテインメント都市づくり

- ・「若い人材が豊富で活気のあるクリエイティブな街」を福岡ブランドとして確立させ、「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」の実現に向け、事業を実施。
- ・「アジアンパーティ」として、「アジアと創る」をコンセプトに、アジアフォーカス・福岡国際映画祭、福岡アジア文化賞、アジア太平洋フェスティバル、The Creators 等の主要事業に加え、アジアとクリエイティブをテーマとした民間企業・団体等の各種事業と連携を図りながら、9 月～10 月に集中開催。（19 事業、約 49 万人参加）

*アジアフォーカス・福岡国際映画祭：274 本の優れたアジア映画を上映したほか、監督や出演者を招いたイベントを実施。：来場者数：33,821 人（過去最高）

*The Creators：市役所西側ふれあい広場で福岡最大級のプロジェクションマッピングなどのエンターテインメントイベントを実施：来場者数：延べ7,000人（過去最高） ・産学官で構成する「クリエイティブ福岡推進協議会（クリエイティブ・ラボ・フクオカ）」を推進母体とし、異業種間の交流・連携を促進。 *セミナー・交流会の開催 4回 ・スタートアップ・サポーターズ事業として、デジタル技術やコンテンツ・モバイル等の分野を中心に、東京でスタートアップ支援事業を展開している民間企業等と連携し、起業家教育、ネットワーキング、プロモーション等を実施。	
(3) 施策推進上の課題	
・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等） ・施策、事業を進めていく上での主な課題 ●クリエイティブ関連産業の振興 ・クリエイティブ産業は国のクールジャパン政策にも見られるように更なる成長が見込まれる。 ・福岡県内には約3万人の理工系大学生が在学しているが、学生の7割は九州での就職を希望しているものの、6割の学生は九州外に就職しており、若くて優秀な人材が福岡で活躍できる場を創出することが重要。 ・情報系・デザイン系などクリエイティブ関連の教育機関から毎年7,000人の人材を輩出しているが、企業が求める人材と教育機関の教育内容にミスマッチが生じている。 ●エンターテインメント都市づくり ・「アジアを知る」をテーマに20年以上にわたって続いたアジアマンスから、「アジアと創る」をコンセプトにした「アジアンパーティ」として事業を再構築したことにより、さらなる集客や、「クリエイティブ・エンターテインメント都市」としてのブランディングを強化するとともに、クリエイティブ関連企業の集積へと繋げていくことが必要。 ・アジアフォーカス・福岡国際映画祭は、市民がアジア文化及び映像文化に親しむだけでなく、アジア映画の情報拠点としてのブランディングや集客力アップが必要。 ・「The Creators」は、クリエイティブ関連企業やクリエイターの交流によるビジネスの創出に繋げていくことが必要。	
3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）	(概ね順調)
・成果指標は減少している。 *成果指標は計画期間前の2012年の数値。 ・英国政府とのMOUを活用したミッション派遣、アジアンパーティなど、事業は概ね目標通り進んでいる。	
4 今後の取組みの方向性	
●クリエイティブ関連産業の振興 ・クリエイティブ関連産業は更なる成長が見込まれ、本市の特性にもあった次代の成長エンジンとなりうる産業分野であり、若い人材が活躍できるよう、積極的に振興。 ・ゲームをはじめ、アニメ・映像、音楽、ファッションなどクリエイティブを包括的に捉え、さらなる振興を図るとともに、企業誘致や海外展開、集客等を促進。 ・福岡ゲーム産業振興機構等の事業を通じ、企業が求める人材の育成に努める。 ●エンターテインメント都市づくり ・H26nで2年目となるアジアンパーティは、特に市民に対して背景・趣旨や目的等を分かりやすく周知し、各事業における統一感を出していくとともに、より効果的な事業展開を検討。 ・アジアフォーカス・福岡国際映画祭は、アジアンパーティの主要事業の1つとして、映画だけでなく、映像分野と一体的に振興し、効果的な広報を実施。 ・「The Creators」は、さらなる集客とブランディングを図るとともに、異業種間の連携促進によるビジネス創出やクリエイティブ関連産業の集積を促進。	

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-3 個人の才能が成長を生む創造産業の振興

クリエイティブ関連産業の振興	所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	25年度事業費	33,377	千円
			26年度事業費	33,159	千円

対象 市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、デザイン、音楽、ファッション)
目 クリエイティブ関連企業者数 2,900社
的 新規立地数 150社 新規創業数 200社

前年度実施内容

ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組んだ。ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取り組みを商工会議所、福岡県等と一体になって支援した。デザイン産業分野では、NPO法人福岡デザインリーグをはじめとするデザイン関連団体などと連携してデザイン関連産業の振興を図るとともに、音楽産業分野において、関連産業の振興を図った。

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	インターンシップ事業	3	3	100%	B
成果の指標	—	—	—	—	
事業の進捗状況に関する補足	—				

クリエイティブフェスタ（クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業）	所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	25年度事業費	40,741	千円
			26年度事業費	55,901	千円

対象 市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、デザイン、音楽、ファッション)及び個人のクリエイター
目 クリエイティブ関連企業者数 2,900社
的 新規立地数 150社 新規創業数 200社

前年度実施内容

1. クリエイティブフェスタの開催（10月）
「アジアマンス」をリニューアルした「アジアパーティ」の中でクリエイティブ系のコンテストやエンターテインメントイベントを開催する「クリエイティブフェスタ」を実施した。参加者数延べ約7,000人。
※クリエイティブフェスタは「クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業」の一つ。他に下記事業を実施している。
2. クリエイティブ福岡推進協議会の運営
3. スタートアップ・サポーターズの運営
4. 明星和楽との連携

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	クリエイティブフェスタの開催	1	1	100%	B
成果の指標	—	—	—	—	
事業の進捗状況に関する補足	—				

アジアフォーカス・福岡国際映画祭	所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	25年度事業費	76,145	千円
			26年度事業費	70,090	千円

対象 ①市民、観客 ①大勢の観客でにぎわう。アジア映画を楽しむ。アジアの文化に親しむ。福岡市に映画祭があることを誇りに思う。
②映像産業関連企業、クリエイター ②企業や人材が集積する。
③アジアの映画関係者 ③福岡国際映画祭出品を目標とする。

前年度実施内容

・会場をキャナルシティに変更し、キャナルシティと連動した広報、クリエイターを引き付ける新たな取り組みなどにより、集客増を図った。
・23か国・地域の241作品を上映するとともに、15か国・地域から監督など75人を招へい。過去最高となる33,821人の来場者を記録した。
・オープニングセレモニーや福岡観客賞、バリアフリー上映会など自主イベントのほか、台湾映画祭、東アジア映画フェスタ、インディペンデント映画祭、中学生招待など多くの協賛企画を実施。
・新たな取り組みとして、地元クリエイター育成のためのワンミニット・フィルムコンペティション、アジアの若手監督によるバリバリショートフィルム、香港映画大特集、映像の教室展テクネ、世界のCMフェスティバルなども開催。

	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	上映数	90	108	120%	B
	イベント数	12	11	92%	
成果の指標	観客数（人）	26,000	33,821	130%	
事業の進捗状況に関する補足	—				

施策評価シート

目標7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している																		
施策7-4	多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり																		
施策の方向性	福岡都市圏の約3割の従業者や、多くの来訪者でにぎわう都心部においては、クリエイティブな人材や企業の集積、スタートアップ機能の充実を図ることとあわせ、建築物の更新期などをとらえた計画的な機能更新を促進し、オープンスペースをはじめとした出会いと交流を促す魅力的な都市空間の創出などにより、創造的な場づくりに取り組みます。																		
施策主管局	住宅都市局	関連局	経済観光文化局																
≪施策事業の体系≫ ★：新規事業 ◆：区事業 / 太字：重点事業 その他：主要事業 〔施策7-4〕多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり ●創造的空間の整備・誘導 ★クリエイティブ産業拠点機能の検討 都市再生の推進<再掲8-1>																			
1 指標																			
≪成果指標≫ なし ≪市民満足度調査（2013年度調査）≫																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">満足度</th> <th colspan="2">重要度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>17.2%</td> <td>重要</td> <td>37.8%</td> </tr> <tr> <td>不満足</td> <td>9.8%</td> <td>非重要</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>69.7%</td> <td>どちらでもない</td> <td>48.7%</td> </tr> </tbody> </table>		満足度		重要度		満足	17.2%	重要	37.8%	不満足	9.8%	非重要	9.0%	どちらでもない	69.7%	どちらでもない	48.7%	満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】	
満足度		重要度																	
満足	17.2%	重要	37.8%																
不満足	9.8%	非重要	9.0%																
どちらでもない	69.7%	どちらでもない	48.7%																
2 現状分析																			
(1) 成果指標等の分析																			
(2) 主な事業の成果																			
●創造的空間の整備・誘導 ・企業ニーズ把握のため、市内に立地するクリエイティブ関連産業の拠点施設やクリエイティブ関連企業へのアンケート調査及びヒアリングの実施。 ・民間建築物の建替・更新等の機会を捉え、まちづくりの取組みを誘導するため、まちづくりの取組みに応じて容積率の緩和を行う「都心部機能更新誘導方策」を活用した計画の具体化（3件）実施。 ・天神明治通り地区におけるまちづくりの将来像を共有する「天神明治通り地区地区計画」を策定。																			
(3) 施策推進上の課題																			
・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等） ・施策、事業を進めていく上での主な課題																			
●創造的空間の整備・誘導 ・クリエイティブ関連産業の拠点施設については、関連企業へのアンケート及びヒアリング調査の結果、5割前後の企業が拠点となる施設やエリアは必要であると回答しているものの、さらなる施設の新設に対しては慎重な意見もある。																			

- ・本市のクリエイティブ関連産業に係る拠点・支援機能については、創業期の企業への支援が充実している一方、成長拡大期の企業に対する支援は少ない。
- ・成長拡大期のクリエイティブ関連企業については、情報発信の場（コンテンツに接する機会の増）、人材育成の場（経営者・マーケティング担当者・新規採用者の育成の場）、販路開拓の場（商談会、海外展開支援）、支援情報のワンストップサービスの場、コンテンツ制作に対する支援の場などのニーズが高い。
- ・国際的な都市間競争が激化する中、都市活力を牽引する都心部の機能を強化し、魅力を高めるため、建築物の更新期を捉えた計画的な機能更新を促進し、出会いと交流を促す創造的な場づくりを進めることが重要である。
- ・都市づくりの基本理念や方針を示す「都市計画マスタープラン」（H26 策定）や、国家戦略特区への指定などのまちづくりを取り巻く環境の変化に対応し、国やエリアマネジメント団体等との共働を進めるため、官民連携によるスピード感をもった取組みが必要。
- ・安全安心で質の高いオフィスビルの確保などのニーズに対応するため、建替え更新期を迎えつつある都心部の民間ビルの機能更新を促進し、一層の都市機能の強化を図ることが必要。

3 施策の評価（１・２を踏まえた施策の進捗状況）

概ね順調

- ・都心部機能更新誘導方策の適用事例の増加、クリエイティブ産業拠点機能調査実施など事業は概ね目標どおり進んでいる。

4 今後の取組みの方向性

●創造的空間の整備・誘導

- ・成長拡大期の企業のニーズを踏まえた拠点・支援機能の強化に取り組む。
- ・クリエイティブ関連企業への支援を展開するための場として拠点のニーズはあるが、拠点検討にあたっては、既存施設の活用や行政の関連部署との連携を十分に図りながら、創造的な場づくりに取り組む。
- ・都心部全体のまちづくりについては、引き続き「都市計画マスタープラン」等の上位計画を踏まえつつ、特定都市再生緊急整備地域や様々な制度を活用し、都心部の機能強化と魅力づくりを推進。
- ・更新期を迎えたビルの建替え等の機会を捉え、「都心部機能更新誘導方策」等の制度の活用など、まちづくりの取組みを支援。

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-4 多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり

クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業		所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課		25年度事業費	5,000	千円
					26年度事業費	0	千円
対象	クリエイティブ関連企業等	目 クリエイティブ関連企業者数 2,900社 的 新規立地数 150社 新規創業数 200社					
前年度実施内容	福岡市のクリエイティブ関連産業について、関連企業の交流促進、ビジネス創出やスタートアップ等を支援するとともに、「クリエイティブエンターテインメント都市・ふくおか」を広く情報発信することを目的とした包括拠点や、クリエイティブ関連産業の支援機能に係るニーズを把握し、拠点の必要性や必要な支援策、行政の関与のあり方について委託調査を実施。						
	指標内容		25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	アンケート回答企業数		100	124	124%	A	
成果の指標	—		—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—						

施策評価シート

目標7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策7-5	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり		
施策の方向性	目標に向かって果敢にチャレンジし、福岡を支え、リードする若者を育成するため、企業や大学などと連携し、さまざまな体験や活動の機会を提供します。それぞれがもつ可能性や創造力を引き出すとともに、福岡の将来を担う若者のネットワークを構築するなど、若者が多い福岡市の強みを生かしながら、都市の活力の向上を図ります。 また、より多くの女性がリーダーとして能力を発揮できるよう、キャリア形成への意識改革や、能力開発の支援、活躍しやすい環境づくりなどに取り組みます。		
施策主管局	経済観光文化局	関連局	総務企画局、こども未来局、市民局、教育委員会

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

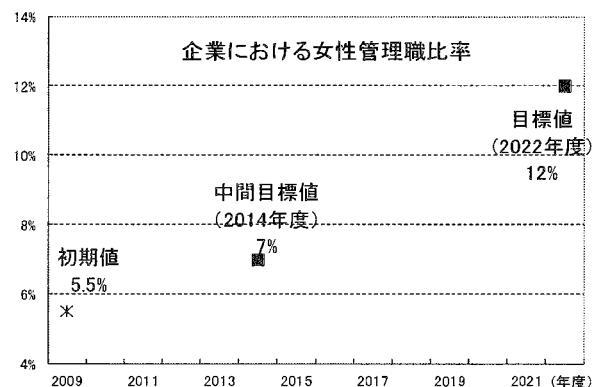
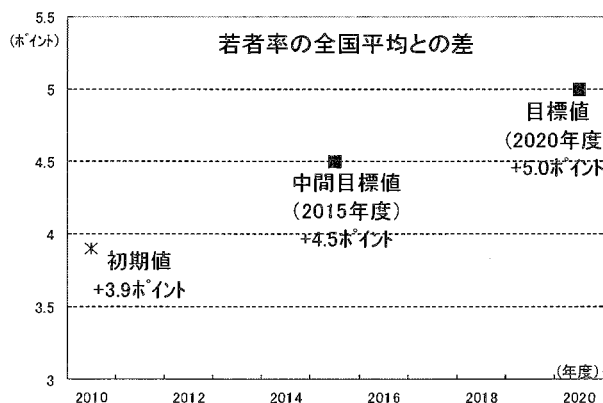
(施策7-5)チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり

- 若者の体験・活動の場や機会づくり
 - 中高生夢チャレンジ大学
 - 職場体験事業<再掲1-8>
 - 区における学生を活かしたまちづくりの推進
 - [◆東区大学・地域まちづくり事業<再掲:東区>、◆大学と地域の縁むすび事業<再掲:南区>、◆大学のあるまちづくり<再掲:城南区>]
- 女性の活躍の場づくり
 - ★女性活躍企業応援事業
 - 女性の活躍促進
 - [★働く女性のチャレンジ支援事業、企業のワーク・ライフ・バランス支援事業]
- 人材ネットワーク構築・活性化
 - 産学官民連携による国際競争力強化事業<再掲6-1>
 - ★グローバル人材の育成と集積<再掲8-5>

1 指標

《成果指標》

	初期値	現状値	中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
若者率の全国平均との差(福岡市の人口に占める若者率の全国平均との乖離)	+3.9 ポイント (2010年度)	—	+4.5 ポイント (2015年度)	+5.0 ポイント (2020年度)	—
企業における女性管理職比率	5.5% (2009年度)	—	7% (2014年度)	12% (2022年度)	—

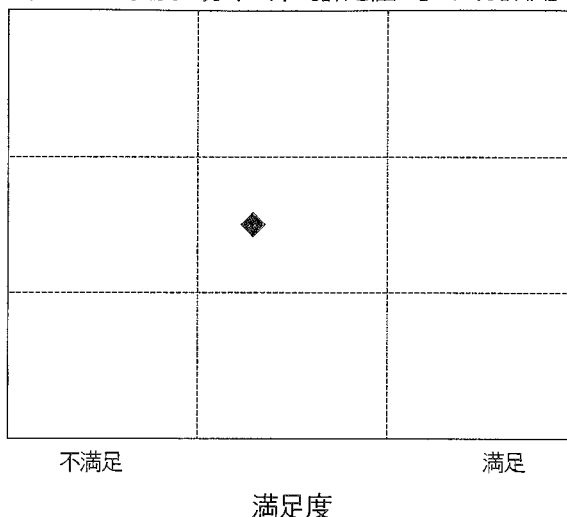


《市民満足度調査（2013 年度調査）》

満足度		重要度	
満足	17.7%	重要	62.1%
不満足	20.3%	非重要	4.4%
どちらでもない	59.2%	どちらでもない	29.4%

非常に重要
重要度
やや重要

満足度と重要度の分布（平均評定値）【9区分評価】



2 現状分析

(1) 成果指標等の分析

(2) 主な事業の成果

●若者の体験・活動の場や機会づくり

- ・福岡を将来リードする人材育成を目的とした中高生夢チャレンジ大学を開設。（参加者 90 名）
 - * 講座の満足度（H24n：99.1% → H25n：100.0%）
 - * 自分には創造力があると気づいた生徒の割合（H24n：61.5% → H25n：73.7%）
- ・職場体験事業の実施。（職場体験プラン受入数：62 プラン）
 - * 「働いている大人の姿を見て、将来の職業を考えることがあるか」（福岡市生活習慣調査）肯定的な回答の割合 H22：69%→H24：75%

●女性の活躍の場づくり

- ・女性活躍企業応援事業の参加企業の女性社員を対象に、ワーキング（5 回 延べ 64 人）、キャリアデザインセミナー（20 人）、成果報告会（120 人）を実施するとともに、働く女性のチャレンジ支援事業において、実践型セミナー（セミナー6 回 延べ 143 人）と交流会（23 人）を開催。
- ・企業向け「ワーク・ライフ・バランス出前セミナー」（32 社）やワーク・ライフ・バランス講演会（103 人）を実施。

●人材ネットワーク構築・活性化

- ・産学官民が一体となり設立された福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、地域戦略（H23n 策定）の実施に向けて、プロジェクトの事業化を見据えた取組みを実施。
- ・FDC の人材部会において、福岡内外の多様な人材と企業の人材が共にイノベーションを起こし、革新的なビジネスの種を生み出すことで、起業・創業の促進や創造性のある人材の集積実現のための仕組みづくりに取組み、「イノベーションスタジオ福岡」の H26n からの本格稼働決定。
- ・将来的に世界で活躍できる人材の育成のため、アジアに近い福岡の特性を活かしたグローバル人材育成施策として高校生等を対象としたサマーキャンプを試行的に実施。

(3) 施策推進上の課題

- ・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等）
- ・施策、事業を進めていく上での主な課題

●若者の体験・活動の場や機会づくり

- ・福岡市は大学や短大、専門学校が集積しており、若者率（15～29歳の割合）は政令市で最も高いが、近年は減少傾向。若者は都市活力の源泉ともなっており、若者のさらなる集積と活躍支援が重要。
*若者率：H17国調：22.5%→H22国調：19.2%
- ・子ども・若者の生きる力の低下が問題視されており、若者の社会的・職業的自立や学校から社会・職業への円滑な移行のほか、創造性に富んだ人材の育成などが課題。
- ・中高生の段階で自己の創造性に気づき、将来を考える機会となる体験や活動の場の充実が必要。

●女性の活躍の場づくり

- ・福岡市では、人口構成上も、サービス業が多い産業構造からも、女性の活躍が都市活力の源泉。
- ・女性の労働力率は、政令市で最も高い（H22年53.9%）。一方で、潜在的労働力率との乖離が全国より大きく、さらに女性が活躍できる潜在力が高い。
- ・国の動向としては成長戦略の中で、女性を「我が国最大の潜在力」とし、企業等における役員の女性比率等の情報開示など、女性の更なる活躍を促進するための環境整備を進めることを明示。
- ・国は第3次男女共同参画基本計画に、2020年までにあらゆる分野で指導的地位を占める女性の割合を30%にすることを目標として掲げているが、民間企業の課長相当職以上に占める女性の割合は7.5%（H25：全国値）と依然低い。

●人材ネットワーク構築・活性化

- ・全国的な人口減少社会の到来、社会経済のグローバル化の進展の中、福岡市の国際競争力を維持していくためには、グローバルに活躍できる人材の育成と集積が重要な課題。
- ・国の成長戦略において、グローバル人材の育成策として、国際交流事業の必要性や国際バカロレア（IB）認定校の大幅増加（16校→200校）が掲げられている。
- ・H26.3に福岡市が国家戦略特区（創業特区）に指定され、在留資格の見直しをはじめ、国際的教育環境の向上のための施策など、グローバル人材の集積と定着に資する規制緩和が検討されている。

3 施策の評価（1・2を踏まえた施策の進捗状況）

—

4 今後の取組みの方向性

●若者の体験・活動の場や機会づくり

- ・中高生夢チャレンジ大学について、多くの中高生が参加し、成果を得ることができるよう、参加費や日程の設定、魅力のある講座づくりなど事業内容を見直すとともに、引き続き企業・大学等と連携し、福岡の将来を担う人材を育成する場や機会の提供に取り組む。
- ・全市中学2年生を中心に実施している職場体験については、受入れ先となる事業所の確保を図るため、職場体験受入の協力企業との連携を推進。

●女性の活躍の場づくり

- ・企業に対して、ワーク・ライフ・バランスに関する講座や講演会、女性社員を対象にした能力開発研修を実施。また、社員が自宅で仕事をする在宅勤務（テレワーク）を検討する企業に、コンサルタントを派遣して導入を支援。
- ・子育て中の社員が育児休業や短時間勤務等を取得しやすい職場環境づくり、管理職に占める女性の割合など、次世代育成や男女共同参画に取り組む企業に対して、契約における優先指名など「社会貢献優良企業」の優遇措置を実施。

●人材ネットワーク構築・活性化

- ・FDC では、プロジェクトの事業化に向けて引き続き活動を進めるとともに、広域展開を見据え、福岡都市圏自治体や大学等の参画を促進。
- ・国家戦略特区に基づく規制緩和の動向も踏まえ、グローバル人材育成施策を検討。
- ・イノベーションスタジオ福岡に多様な人材等が継続して参加する仕組みを構築するとともに、協賛企業からの資金確保を推進。また、イノベーションスタジオ福岡が持つ機能の1つである人材育成機能の本格稼働（H27n）に向け、大学等の教育機関や海外都市との連携を活用した実施スキーム、プログラムの構築を支援。

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり

中高生夢チャレンジ大学		所管課	こども未来局こども部総務企画課		25年度事業費	10,267	千円
					26年度事業費	9,367	千円
対象	中高生・高校生	目的	自分の可能性や創造力に気づき、自分の強みや個性を生かした職業や将来を考える。				
前年度実施内容	参加者：90名（中学生71名、高校生19名） ①開校式・宿泊研修（海の中道青少年海の家1泊2日） ・自分を知り、自分の可能性や創造性を掘り起こすワークショップを実施。 ②講座 ・起業、ファッション、食、まちづくり、ゲーム、メディア、観光の7テーマから2テーマ2講座以上選択し、受講。 ・福岡で活躍する職業人から、人生観・職業観を直に学ぶ。 ③閉校式・交流会 ・未来の自分への誓いを立てる。 ・振り返りワーク						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	参加人数	150	90	60%	B		
成果の指標	自分には創造力があると気づいた生徒の割合（%）	63.0	73.7	117%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
女性活躍企業応援事業		所管課	市民局男女共同参画部男女共同参画課		25年度事業費	2,468	千円
					26年度事業費	8,221	千円
対象	市内企業、企業で働く女性	目的	企業の女性プロジェクトチームの活動支援などにより、企業の女性リーダー育成を図るとともに、女性社員の能力開発研修の機会を提供するなど、市内企業の女性活躍の取組みを促進する。				
前年度実施内容	参加企業の女性社員（8社、17名）を対象に、以下の事業を実施。 ①ワーキング 5回（7/3、8/19、9/5、10/15、2/12） ②キャリアデザインセミナー H26.1.16 福ビル9階第5ホール 参加者 20名 ③成果報告会 H26.3.5 アクロス福岡円形ホール 参加者 120名						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	参加企業数	8	8	100%	A		
成果の指標	企業における女性管理職比率	—	—	—			
事業の進捗状況に関する補足	—						
働く女性のチャレンジ支援事業		所管課	市民局男女共同参画部事業推進課		25年度事業費	1,013	千円
					26年度事業費	1,104	千円
対象	企業で働く女性	目的	企業で管理職やリーダーになるための力をつける。 企業で生き生きと働き、自分の力を発揮する。				
前年度実施内容	参加者を公募し、実践型セミナー（全6回、うち1回は公開講演会）と交流会を実施。 ◎セミナー「働き女子のハビキャリア道場」 受講者数 17人、延べ参加人数 87人 公開講演会参加人数 70人 ◎交流会「ハビキャリア女子会」 参加人数 23人						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	受講者数（年間）	25	17	68%	C		
成果の指標	企業における女性管理職比率	—	—	—			
事業の進捗状況に関する補足	—						

施策評価シート

目標7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策7-6	大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化		
施策の方向性	都市の活力を支える大学や専門学校の教育・研究機能を充実・強化するため、若者が集まるよう都市の魅力を高めながら、各教育機関の個性・魅力を向上する活性化の取組みや、大学間の連携・ネットワーク構築を積極的に支援、促進するとともに、地域や産業界との連携を推進します。		
施策主管局	経済観光文化局	関連局	住宅都市局

《施策事業の体系》 ★：新規事業 ◆：区事業 / 太字：重点事業 その他：主要事業

(施策7-6)大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化

●教育・研究機能の充実強化

—九州大学学術研究都市構想の推進[九州大学学術研究都市推進機構との連携、九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり]<再掲8-2>

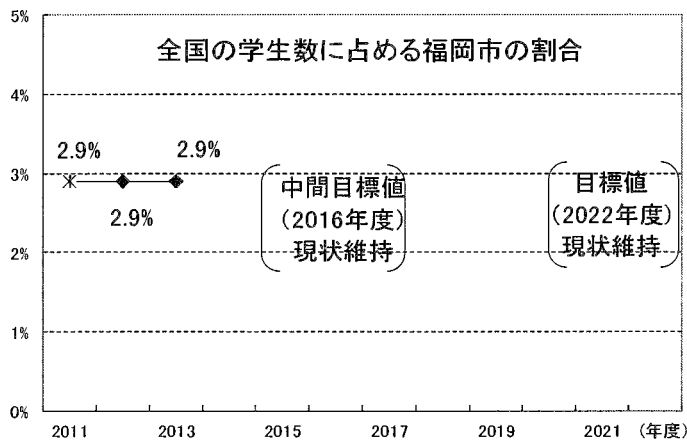
—大学のまちづくり

—★大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業

1 指標

《成果指標》

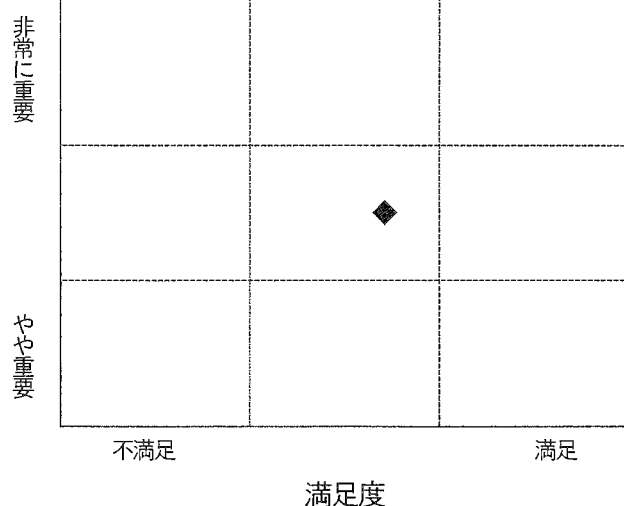
	初期値	現状値		中間目標値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況
全国の学生数に占める福岡市の割合	2.9% (2011年度)	2.9% (2012年度)	2.9% (2013年度)	現状維持	現状維持	A



《市民満足度調査 (2013年度調査)》

満足度		重要度	
満足	26.4%	重要	63.3%
不満足	14.2%	非重要	3.3%
どちらでもない	56.3%	どちらでもない	29.4%

満足度と重要度の分布 (平均評定値) 【9区分評価】



2 現状分析
(1) 成果指標等の分析
・全国の学生数に占める福岡市の割合は、直近5年間ほぼ横ばい。 (H25：福岡市 111,267 人、全国 3,790,100 人)
(2) 主な事業の成果
●教育・研究機関の充実強化 ・九州大学学術研究都市推進機構との連携 *セミナー・説明会等：2回開催、参加者 205 名 *公開講座の共催：14 回開講、参加者延べ約 600 名 *企業誘致活動：約 60 社訪問【H17n～H25n：合計約 770 社】 *企業向け現地説明会：22 回開催 ・九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり *九大学研都市駅～伊都キャンパス間の交通アクセス強化として、バスの増便が実現。 40 往復 (H17.10) →131 往復 (H26.4) ・福岡都市圏 20 大学、商工会議所、市で構成する「大学ネットワークふくおか」による大学のまちづくり推進。 *福岡での学生生活の魅力を発信する HP 等の企画運営。 *学生活動を支援し、地域を担う優秀な人材を育成するビジネスチャレンジ事業（支援対象団体：4 団体）、学生活動発表会（表彰団体：5 団体）の実施。 *企画立案を行う人材育成のための学生就業体験（ワークプレースメント）の実施（受入企業数：延べ 17 社、参加学生数：のべ 166 人）。 *地場企業の魅力を学生に伝えるための大学内説明会（8 回、延べ 644 人参加）、企業見学会（3 回、延べ 78 人参加）の実施。 ・映像とゲーム分野において即戦力となる高度人材を育成するカリキュラムの制作及び講座の実施。
(3) 施策推進上の課題
・社会経済情勢の変化等（新たな制度創設や法改正など国や県の動向・状況変化等） ・施策、事業を進めていく上での主な課題
●教育・研究機関の充実強化 ・学術研究都市構想の基盤となる研究拠点は形成されつつあるが、周辺への民間企業等の研究開発機能進出には至っていない。 ・九州大学の移転に伴い、九大学研都市駅から伊都キャンパスまでのバス利用者が増加する一方で、駅北口広場において、バスバースが不足していることから、バス待ち行列が通学時において発生している。 ・伊都キャンパス直近のまちづくりとして、元岡地区は、住宅などの立地が進みつつあるが、さらなる土地利用の促進が必要（元岡土地地区画整理事業地区内の立地割合 H25.3：25.8%→H26.3：29.5%）。桑原地区では H19 に土地地区画整理準備組合が立ち上がったが、事業化に至っていない。 ・福岡市には、11 大学・9 短大が立地する全国でも有数の大学集積地であり、大学の教育・研究機能、また若者の集積や大学活動等による経済波及効果など、大学は都市活力の源泉。一方、少子化やグローバル化の進展など、大学を取り巻く環境は厳しさが増大。 ・福岡県内には約 3 万人の理工系大学生が在学しているが、学生の 7 割は九州での就職を希望しているものの、6 割の学生は九州外に就職しており、若くて優秀な人材が福岡で活躍できる場を創出することが重要。 ・「大学のまち」としての魅力を高めるため、大学の活性化、大学間の連携・ネットワークを支援促進するとともに、大学の魅力発信、学生の人材育成、企業と学生とのマッチングのさらなる推進が必要。 ・情報系・デザイン系などクリエイティブ関連の教育機関から福岡県内に毎年 7,000 名の人材を輩出している一方で、企業が求める人材と教育機関の教育内容にミスマッチが発生。

3 施策の評価（１・２を踏まえた施策の進捗状況）	概ね順調
・成果指標は順調に推移している。 ・九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり、「大学ネットワークふくおか」のビジネスチャレンジ事業など、事業は概ね目標どおり進んでいる。	
4 今後の取組みの方向性	
●教育・研究機関の充実強化 ・九州先端科学技術研究所等の関係機関と連携して、九州大学学術研究都市周辺への産学連携交流センターを核とした研究機関の誘致を進め、民間企業等の研究機関の立地に魅力的な研究都市構想を推進。 ・九大学研都市駅～伊都キャンパス間の交通アクセス強化について、当面の対策としてバスパースの増設をH26nに行うとともに、今後もバスの利便性強化に向けて検討を実施。 ・元岡地区は、まちの成熟を図るため、生活利便施設立地等をサポートし、桑原地区は、周辺のまちづくりの進捗状況等を踏まえながら、引き続き、まちづくりの実施に向けた地元支援を実施。 ・学生集積のため、福岡、九州だけでなく、関東、関西など全国の高校生に対し、福岡の大学および地域の魅力の発信を推進。 ・既に定着している「若者が集う街」としての評価を維持するとともに、さらなる若者の活躍や地元への定着をめざし、就職活動支援事業や大学や産業界との連携による各事業を着実に推進。 ・福岡ゲーム産業振興機構等の事業を通じ、企業が求める人材の育成に努める。	

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-6 大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化

大学のまちづくり		所管課	経済観光文化局新産業・立地推進部創業・大学連携課		25年度事業費	9,959	千円
					26年度事業費	8,864	千円
対象	学生 大学	目的	学生数の増加 地域の将来を支える人材の増加 大学との連携による産業の活性化				
前年度実施内容	○大学ネットワークふくおかの運営 【情報発信事業】 福岡都市圏大学及び福岡での学生生活の魅力を発信するため、ホームページの運営を行うとともに、映画の試写会招待企画、フリーペーパーでの告知等により、ホームページへの誘導を図った。 【大学共同事業】 学生の活動を支援し、地域を担う優秀な人材を育成する「ビジネスチャレンジ事業」「学生研究発表会」、企画立案を行う人材育成の目的を持った「学生就業体験（ワークプレースメント）」、地場企業の魅力を学生に伝えるための大学内説明会、企業見学会など「就活支援事業」を実施した。						
	指標内容		25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	ホームページ年間アクセス数		57,500	70,205	122%	A	
成果の指標	全国の学生数に占める福岡市の割合（％）		現状維持	2.9	100%		
事業の進捗状況に関する補足	—						
大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業		所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課		25年度事業費	8,000	千円
					26年度事業費	0	千円
対象	市内クリエイティブ関連企業（ゲーム、映像）	目的	クリエイティブ関連企業者数 2,900社 新規立地数 150社 新規創業数 200社				
前年度実施内容	1. 教育機関と企業の連携による高度人材育成カリキュラムの実施 ・教育機関と企業との意見交換会の実施 ・高度人材育成カリキュラムの公募 2. 「福岡FC1minuteドラマコンペティション」開催 福岡FCの活動をテーマに福岡の見どころを織り交ぜたドラマ仕立ての映像を公募し、人材育成と発掘の場を提供した。						
	指標内容		25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	意見交換会・人材育成講座及び1minuteドラマコンペティション		7	7	100%	A	
成果の指標	—		—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—						

